

(広報資料)



平成29年10月4日  
京都市環境政策局

担当：循環型社会推進部  
ごみ減量推進課 213-4930  
まち美化推進課 213-4960

## ごみ減量の状況及び緊急対策の実施について

京都市のごみ量は、市民・事業者の皆様の御理解と御協力の下に、ごみ半減をめざす「しまつのこころ条例」を推進してきた結果、平成27、28年度の2年間で、4.4万トン、1割を削減、ピーク時から49%削減でき、御家庭からのごみ量も他の政令市平均の7割と全国の大都市の中で最も少なくなり、環境負荷の低減と年間154億円ものコスト削減を図ることができました。

しかしながら、ごみ半減をめざす「しまつのこころ条例」の施行から1年半が経過した今年度になり、8月末で対前年度比は△0.6%と、減量ペースが大幅にダウンしています。

そのため、現在、取組を進めている食品ロス削減をはじめ、2Rと分別の徹底の取組を更に強化することはもとより、10月～11月には緊急対策として、「早朝のごみ排出定点等における啓発・指導」や「排出事業者への指導強化」等を実施し、市民及び事業者の皆様のごみ減量の行動・実践につながる取組を強力に推し進めます。

### 1 ごみ減量の状況

単位：万トン

< >内は、対前年度比%

( )内は、対ピーク時(平成12年度)比%

【 】内は、家庭ごみ有料化前(平成17年度)比%

	平成12年度 (ピーク時)	平成27年度	平成28年度			平成29年度 (4～8月)
			上半期	下半期	通年	
家庭ごみ	34.5	22.4 <△2.1%> (△35%) 【△27%】	11.1 <△2.9%>	10.7 <△2.5%>	21.8 <△2.7%> (△37%) 【△29%】	9.3※ <△0.2%>
うち 燃やす ごみ	31.5	19.4 <△3.1%> (△38%) 【△30%】	9.6 <△3.6%>	9.2 <△2.8%>	18.8 <△3.2%> (△40%) 【△33%】	8.0 <△0.2%>
事業ごみ	47.0	21.5 <△7.3%> (△54%)	10.1 <△9.2%>	9.8 <△5.8%>	19.9 <△7.6%> (△58%)	8.4 <△1.1%>
市受入量	81.5	44.0 <△4.7%> (△46%)	21.2 <△6.0%>	20.5 <△4.1%>	41.7 <△5.1%> (△49%)	17.7 <△0.6%>

※ 一部のごみ量(拠点回収量等)については集計中のため、昨年度実績値を計上(約0.2万トン)しています。

注) 一部、四捨五入の関係で増減率等が一致しない場合があります。

## 2 取組の概要

### (1) これまでの取組を強化

#### ① 地域学習会「しまつのこころ楽考（がっこう）」

食品ロス削減等の地域学習会について、現在94回（7月末）開催のところ、今後、精力的に展開し、200回以上開催します。



#### ② コミュニティ回収



雑がみの分別徹底・コミュニティ回収の拡大に向け、マンション等を含むコミュニティ回収未実施地域へのローラー作戦を強化します。

#### ③ クリーンセンターにおける展開調査（搬入物検査）

クリーンセンターで実施している事業ごみの展開調査（搬入物検査）について、現在68回（7月末）実施のところ、180回以上実施します。



#### ④ 食べ残しゼロ推進店舗認定制度

現在596店舗（7月末）のところ、800店舗以上（新規200店舗以上）を認定します。

#### ⑤ 30・10（サーティ・テン）運動

忘年会・新年会シーズンに街頭や居酒屋等での啓発（12月～1月の毎週）を精力的に行います。



## ⑥ フードバンク活動等支援

予定していた4団体からの申請があり交付決定済のところ、新規申請団体の開拓・調整を図ります。

### (2) 10月～11月の緊急対策

#### ① 早朝のごみ排出定点等における啓発・指導

職員等が早朝に分別不十分なごみ排出定点等で説明、指導します。

毎週2回(全8回)実施するほか、商業施設や駅等でも街頭啓発します。



#### ② 排出事業者への指導強化



展開調査で分別不十分と判断した排出事業者への指導を強化(全件訪問指導)します。

#### ③ 持込ごみの指導強化

クリーンセンターへの不適正な持込ごみの指導を強化します。



#### ④ マンションへの分別指導の強化

管理会社への訪問指導等により、コミュニティ回収等の取組を勧奨します。

#### ⑤ 市民しんぶん区版挟み込みなど周知・広報の強化・徹底

市民及び事業者の皆様に対して、市民しんぶん区版挟み込みや排出事業者への広報誌「ごみゆにけーしょん」により、ごみ減量の行動・実践につながる取組の周知を行うほか、移動式拠点回収(400回以上)や各種地域イベント等においても周知・啓発を強化します。

